

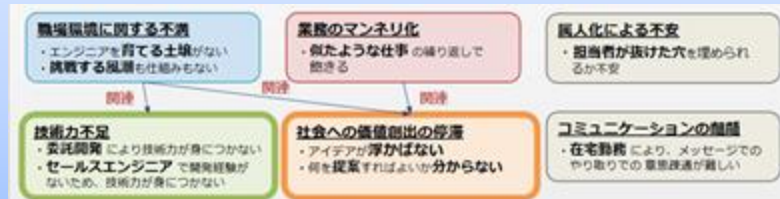
モチベーションと要求工学の融合による 業務課題解決のアイデア提言

兼城 享平^{†1} / 齊藤 花奈^{†2} / 真田 祐希^{†3} / 富田 健介^{†4}

^{†1}.東芝デジタルソリューションズ (株) / ^{†2}.テクマトリックス (株) / ^{†3}.鹿島建設 (株) / ^{†4}. (株) デンソー

メンバーが感じる業務に関する問題点

ブレインライティング・KJ法で問題を分類し、
メンバーのモチベーションが高い2テーマを選定



課題抽出に向けたアプローチ

テーマ1 技術力不足

- ・ペルソナ分析：開発経験がなく自信がない社員を想定
- ・ビジュアルコレクト（アート思考）

- ①楽曲制作から海外文化に着目
- ②楽器演奏からスキル向上のステップを深堀

テーマ2 社会への価値創出の停滞

- ・アート思考プロセスで「交通事故問題」に着目
- ・ペルソナ分析・CJM：子供を持つ親を想定

テーマ1 技術力不足

アート思考活用

- ①海外のキャッチアップモデル→既存のものを真似しながら実際に自分で手を動かすことが技術力向上のポイント
- ②楽器演奏のスキル向上→繰り返し実践することでスキルが定着

課題 ソフトウェア開発の実践を積む場や期間・技術フォロー

企業事例調査

社内成果発表会：毎年恒例イベント・参加者のモチベ向上がポイント
⇒定期開催の会社イベントをソフトウェア開発に応用可能と考えた

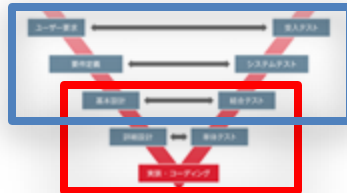
提案モデル DevQuestコンテスト

ものづくりの楽しさや達成感を体験しながら、初心者から経験者まで
繰り返し「ソフトウェア開発の実践」ができる会社としての取り組みモデル



対象範囲：V字モデルの段階的实践

- ・**パターン1** 既存システム組合せの開発
→設計未経験者向け
- ・**パターン2** 基本設計～実装の開発
→実装未経験者向け



今後の課題 審査員スキル、教育内容の妥当性 など

≫ 継続開催する中で評価・改善

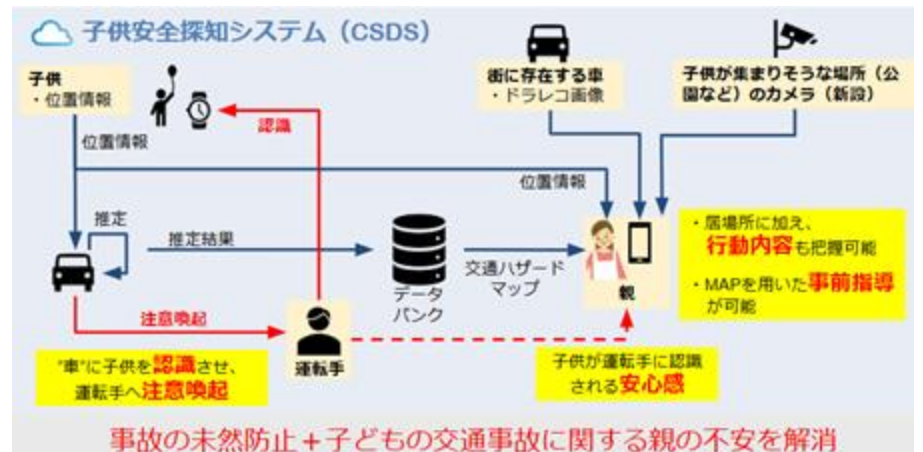
テーマ2 社会への価値創出の停滞

アート思考活用：車への関心+感情⇒「交通事故」に着目

課題 運転手の不注意+親の子どもへの不安が課題

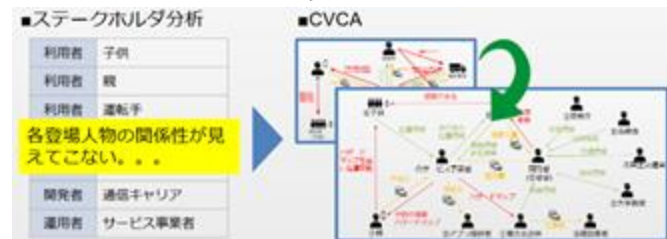
提案アイデア

危険を推定し運転手へ**注意喚起**+親へ**子供の情報**を提供により
⇒交通事故防止と親の不安へ同時にアプローチするシステム



評価 ステークホルダー分析とCVCAを実施

ステークホルダ分析とCVCAを並行して実施することにより、ステークホルダ間の関係性を見える化でき、繋がりが連想しやすい



結果

各ステークホルダに**価値**（お金や情報）が流れていることを確認出来た

今後の課題

≫ アイデアの社会的な懸念、技術的な課題、収益性評価

提案の気付き

2つのアイデア提言のプロセスから

「**自分事として捉えること**」の重要性を認識



- ・問題把握
- ・対象設定
- ・アイデアへのアプローチ

業務への展開

■Step1 (アイデア提案に慣れるまで)

内発的な想い・感情に照らし合わせて**自分事として捉える**（アート思考）
→アイデアを考え易いことに加え、**モチベーション**の維持にも繋がる

■Step2 (アイデア提案に慣れたら)

徐々に**他者の視点**に立ち、提言の幅を広げていく（デザイン思考）